

1 治安水準の更なる向上のための総合対策の推進

(1)犯罪が起きにくい社会づくりの推進

防犯ボランティア支援事業の推進 要望額：11百万円

現状と課題

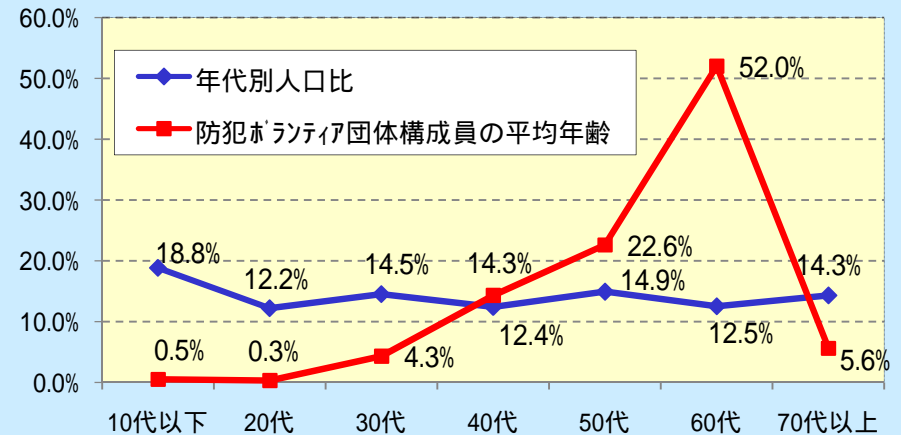
● 現状

全国の防犯ボランティア団体数は、年々増加
平成21年に実施した意識調査では、防犯ボランティア活動の効果として、
約7割が「子どもの安全確保に役立っている。」
約6割が「不審者の出没減少に役立っている。」

と回答。

● 課題

構成員の高齢化等が課題
活動が一過性のものに終わらないよう、後継者の育成が必要。



事業の概要

幅広い年代層の参加を得た活動へと発展させるため、会社員などの現役世代が活動に参加しやすい環境づくりを推進するための支援を展開。

支援対象団体 ~ 現役世代の参加しやすい**夜間活動**や**青色防犯パトロール活動**を行おうとする団体 (各都道府県1団体)

支援内容 ~ 青色回転灯や青色自発光式パトロールベスト等の無償貸付、現役世代の参加募集用チラシの提供、防犯講習の開催等



【夜間活動の状況】



【青色防犯パトロールの状況】



【防犯講習の状況】